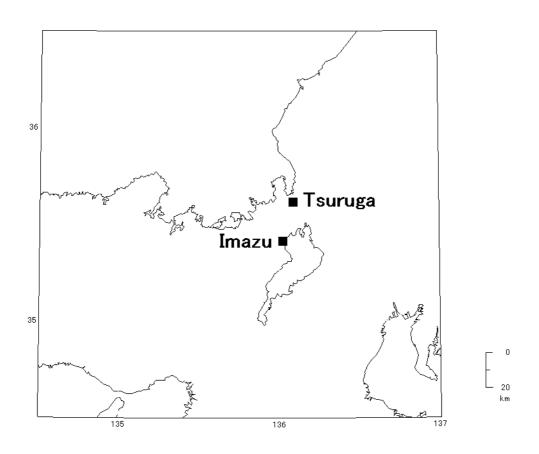
## 7 - 4 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測

Continuous Observations of Crustal Deformations in and around Intraplate Seismic Gaps

気象庁・気象研究所 Meteorological Research Institute, JMA

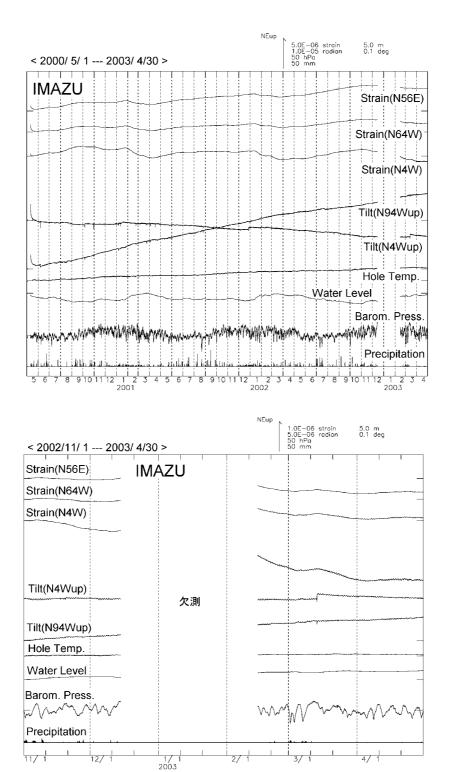
気象研究所では,いわゆる「内陸部の地震空白域」の調査研究のため,近畿地方の今津(滋賀県、35°25 18 N,136°00 52 E)および敦賀(35°37 04 N,136°04 12 E)に石井式三成分歪計,傾斜計からなる地殻変動観測施設を設置し(第1図),1996年5月より連続観測を行っている。

第 2 ,3 図に今津・敦賀観測点の 2000 年 5 月 1 日 ~ 2003 年 4 月 30 日の 3 年間及び 2002 年 11 月 1 日 ~ 2003 年 4 月 30 日の 6 ヶ月間の観測データ (時間値)をそれぞれ示す。敦賀の傾斜 (N52Eup)に 2001 年 1 月から変化が見られるが ,原因は不明である。その他の変化は ,今津・敦賀とも停電や計器の故障によるものである。



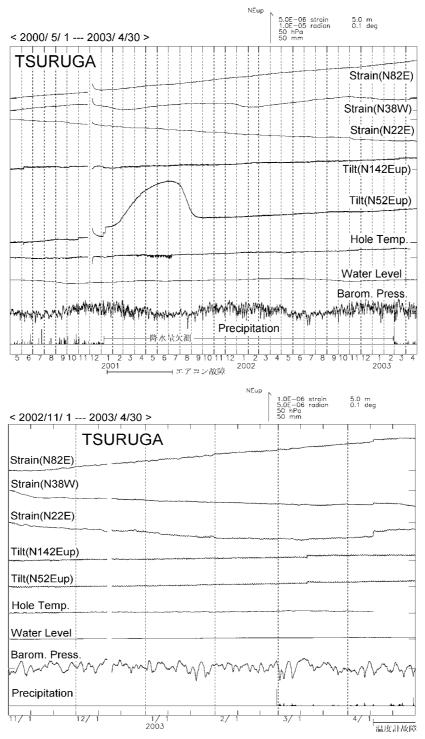
第1図 今津・敦賀観測点の位置

Fig.1 Locations of crustal deformation observation stations (Imazu and Tsuruga).



第2図 今津観測点における歪・傾斜変化(時間値) (上)2000年5月~2003年4月,(下)2002年11月~2003年4月。2000年5月の変化は停電,2002年12月中旬から2003年2月中旬の欠測は収録装置の故障のため。

Fig.2 Changes of crustal strain and tilt at Imazu (upper) 2000/05/01 - 2003/04/30, (lower) 2002/11/01 - 2003/04/30. Strain changes were caused by power failure in May 2000. Data was lost by a trouble of the recording instruments from the middle of Dec. 2002 to the middle of Feb. 2003.



第3図 敦賀観測点における歪・傾斜変化(時間値) (上)2000年5月~2003年4月,(下)2002年11月~2003年4月。2001年1月からの傾斜(N52Eup)変化の原因は不明。2000年11~12月の変化は停電,2003年4月中旬のステップ状歪変化は温度計故障のため。

Fig.3 Changes of crustal strain and tilt at Tsuruga (upper) 2000/05/01 - 2003/04/30, (lower) 2002/11/01 - 2003/04/30. The cause of the tilt change (N52Eup) is unknown from Jan. to Sep. 2001. Strain changes were caused by power failure from Nov. to Dec. 2000. Step-like strain changes were lost by a trouble of the thermometer at the middle of Apr. 2003.